

えびの

市議会
だより

第126号

令和2年10月20日

Ebino City Assembly Report 2020/10/20 Vol.126



みんなで築いた50年 次に進もう新時代

矢岳高原から望む雲海に浮かぶ霧島連山

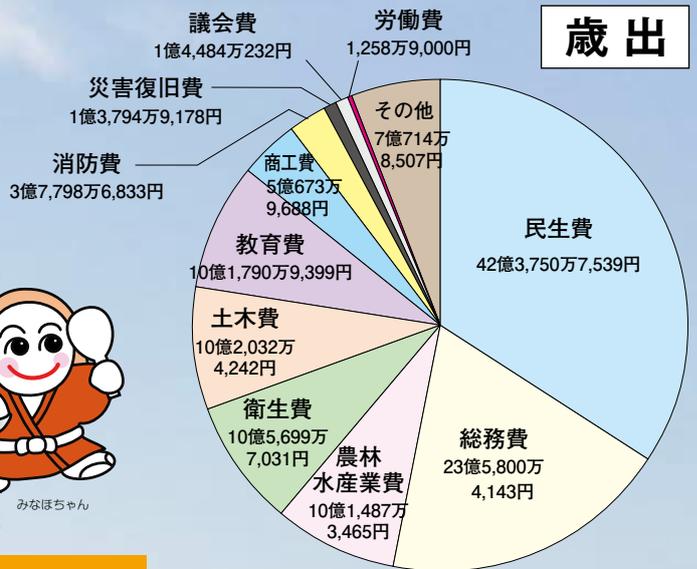
次回12月定例会は
11月30日
開会予定

令和元年度えびの市一般会計決算についてを審査！

えびの市議会では、9月定例会において市長から提案された令和元年度決算について、4日間にわたり詳細な審査を行いました。審査の結果、全会一致で認定しました。



みずぼちゃん



えびの市の令和元年度決算(一般会計)

一般会計歳入
(入ってくるお金)

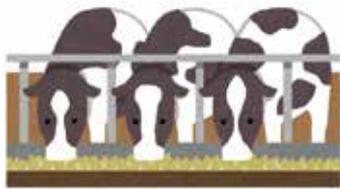
132億1,919万円

一般会計歳出
(出て行くお金)

125億9,286万円

差し引き額

6億2,632万円



えびの産種雄牛について

現在市内に、基盤雌牛、繁殖雌牛の頭数、現状について。

えびの産種雄牛作出基盤雌牛確保奨励事業補助金は、えびの産の種雄牛を増勢するためのもの。西諸管内で50頭という枠の中で、えびの市の方が13頭選ばれている。



飯野高校について

飯野高等学校の全国受入枠入学の現状は。

地域未来留学フェスタに参加し、本市及び飯野高等学校のPRを行った結果、4人の全国枠受入入学に繋げる事ができた。



市内の学校における学力調査

市内の学校における学力調査の効果について、どのように思われているのか。

この学力調査については、結果についてしっかり分析をしている。各学校がこのテストに向け、準備を進めることで学力の向上が見られており、意義があると感じている。



はつらつ百歳体操

はつらつ百歳体操の実施自治会数？体操に参加する人が少なくなっていると聞く。参加を促すための課題は？

実施自治会数は61自治会である。新たな制度の導入などを検討し、継続支援を行いながら、はつらつ百歳体操を充実させるための検討をしていきたい。



地域福祉活動の効果

地域福祉活動補助金の成果で世代間交流や地域のボランティアによる昼食づくりを推進したとあるが、どのような効果があったと考えているか。

この事業により、高齢者の方が外出する機会が多くなってきている。引きこもり等の防止に非常に役に立っているものと思っている。



自主防災組織の現状と課題

現在、自主防災組織のある自治会数は？自主防災組織のハンドブックがあると思うが、自治会の方の話を聞いて内容改定の検討も必要ではないか。

現在、11自治会が立ち上げられている。昨年、各自治会を回り自主防災組織の説明会を開催した。その際もガイドブックを同時に作成しないといけないわけではなく、地域で起こる災害も違うので、地域にあった組織づくりをしていただきたいとお伝えしている。新型コロナの影響で現在進んでいないが、全力でサポートしていく。



美化センター

美化センターで小林・高原からのごみの受入数量は？美化センターの運営は広域で検討すると聞いている。進捗は？

令和元年度の実績は1,896tである。協議を行ったが、基本方針は整っていない。どこに設置するかも含め引き続き広域で検討していく。



特定空家対策会議

どのような会議をされているのか。地権者がおらず連絡が取れない等の課題がある。国の制度を導入して、対応出来るように出来ないのか。

昨年度は、空家の実態調査に基づいて特定空家の認定を行った。市民の方々からの相談は自分の財産を守るための相談だが、一方で相手方も財産であるため慎重に取り扱うべきであるが、安全面を確保できるように緊急措置の条例を検討中である。



道の駅えびのの運営状況

道の駅えびのの指定管理委託料はほとんど例年と変わらないと思う。売り上げは年々上がってきていると思うが、どうか。

道の駅えびののについては、第2期から収益減増納付金という事で、指定管理者の年間収益に対して、その3割を納めて頂いている。令和元年度の実績で、4,397,519円を納付して頂いており、この金額の純収益金額が13,192,559円となっている。

総務教育 常任委員会 報告

9月定例会で、当委員会に付託された議案6件、認定2件について審査を行いました。審査の結果、議案第51号から議案第54号まで、議案第64号、議案第65号、認定第6号については討論は無く、いずれも原案のとおり全会一致で決まり、認定第7号については、反対討論があり、挙手による採決を行い、賛成多数で原案のとおり決まりました。以下、主な審査内容を抜粋して報告します。

議案第64号 令和2年度えびの市水道事業会計予算の補正(第1号)について

Q 収益的収入及び支出の収入の部、補正予定額6,460万2千円の中で営業収益3,300万円と、特別利益3,106万1千円について。

A 3,300万円は、県の補償金で、硫黄山対策の工事により西長江浦にある水道管の移設が必要であり、工事の補償金を受け入れるものであり、3,106万1千円は豪雨災害による、保護工事及び本工事の工事費、及び職員の時間外勤務手当を一般会計から特別利益として受けるものである。

Q 特別損失の災害による損失2千466万円は豪雨災害

による導水管保護工事費とある。内訳と場所について。

A 導水管工事費が2千400万円と職員の時間外勤務手当が66万円である。場所は、柿木原浄水場の前の林道から登ったところの2か所が崩落し、水道のメイン管が露出した状態であり、その保護工事を行ったもので、最終的には林野庁が崩落した林道の修復を行う時に本工事を行う。

議案第65号 令和2年度えびの市病院事業会計予算の補正(第2号)について

Q 新型コロナウイルス感染症に關わる医療従事者への慰労金として890万円の国庫補助金の内容については。

A 新型コロナウイルス感染者が発生し、医療にあたった病院と医療にあたっていない病院では慰労金に違いがある。えびの市立病院は、協力医療機関という事で、1人あたり10万円を想定している。今回の給付は、都道府県から役割を設定された医療機関に勤務し、患者と接触する医療従事者や職員に支払われる。新型コロナウイルス感染症の患者の診療等を行った医療機関等は、1人あたり20万円、協力医療機関は1人あたり10万円、他の病院、診療所、訪問看護ステーション、助産所に勤務する場合は、1人あたり5万円である。

認定第7号 令和元年度えびの市病院事業会計決算の認定について

Q 令和元年度末の欠損金が7億319万8千415円となっており、大変厳しい状況である。要因としては医師不足、人口減少、診療体制等があるが、このままでは累積赤字が増え続け心配している。解決策を見出していくことが肝要だが。

A 状況改善のために、地域医療構想に即し、地域包括ケア病

床を開設して収益増を見込んだが、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標に至らなかった。現在では徐々に患者数が回復してきたので、地域包括ケア病床の運用が出来るように、また外来患者が増えるよう努力していきたい。また市立病院改革プランの次期策定に向けて、病院事業の内部見直しが重要なので、経営分析においては外部専門家の力をいただきながら、市立病院検討委員会も一緒に、今後の方向性を探っていきたいと考えている。

認定第7号に対する反対討論

市立病院の運営について、市長は医師確保に取り組んでいらっしゃるが、いまだ先が見えるような状況ではない。決算の状況を見ると、累積赤字が10億円近くなっている。これについては、地域包括ケア病床の事業も取り組まれたが、それも明るい方向には進んでいない。医師確保に専念して頂かなければこのような決算を認めるわけにはいかない。よって、認定第7号に反対する。

総務教育常任委員会

委員長 西原 義文

産業厚生 常任委員会 報告

9月定例会において、当委員会に付託された議案8件、認定4件及び陳情2件について審査を行いました。審査の結果、議案8件及び認定4件については、討論はなく、いずれも原案のとおり全会一致で可決・認定と決まりました。また、陳情2件については、全会一致で継続審査することになりました。以下、主な審査内容を抜粋して報告します。

議案第55号 えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

家庭的保育事業者等による乳幼児の保育の提供の終了に際し、引き続き教育・保育の提供が必要ときに、市が措置を講じる場合は当該事業者等による連携施設の確保は不要とし、居宅訪問型保育事業において、保護者の疾患等により養育を受けることが困難な乳幼児には、居宅訪問型事業者は居宅訪問型保育を提供できるとするものです。

Q 家庭的保育事業と小規模保育事業及び居宅訪問型保育事業の内容は。

A 家庭的保育事業は、家庭的保育者の自宅、公民館及び集会所等で家庭的保育者による保育を行うものである。小規模保育事業は、利用定員が6名以上19名以下の保育施設で保育を行う事業であり、居宅訪問型保育事

業は、保育の必要な乳幼児の居宅において家庭的保育者が保育を行う事業である。本市では該当する事業者はいない。

Q 今回の改正は、保護者の疾病等による子どもの保育に関する内容でよいか。

A 保護者に起因するもので、疾病だけでなく身体的な障がいも含まれている。

議案第57号 えびの市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

放課後指導支援員の研修で、都道府県知事が行っていたのを、都道府県知事又は指定都市や中核市の長が行うこととし、研修の拡充を図るものです。

Q この知事の認定は、他の都道府県の市町村でも使用できるのか。

A 当然、都道府県知事であるので、宮崎県で認定を受ければ他の県でも活かせるものと考ええる。

認定第5号 令和元年度えびの市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について

Q 産業団地事業造成費の、翌年度繰越額1,291万4千円の内容は。

A 工事契約額の4割以内の前払いを支払った後の残額である。

Q 土地購入と補償金について説明を。

A 土地購入は全て完了して、補償金に関しては、建物等移転補償として居宅建物等の3物件と、電柱移転補償金を支払っている。

陳情第11号 地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書

Q この陳情書は、えびの市や宮崎県全体を考えた上でのものと思うが、どのように考えているか。

A 健康増進法を受けて、市内の全ての公共施設に対策を取るよう説明し、全て対策が取られている。

また、一般市民の方や飲食店、事業所にも広報で周知したが、飲食店や事業所の指導は県・保健所が行う。

陳情第12号 令和2年えびの市観光緊急誘客対策事業に対して調査および究明を行う百条委員会等をえびの市議会に対して求める陳情書

Q 市としての最終検証結果がでるのはいつ頃か。

A 観光協会から、今年年末から年明けにかけて具体的な数字が上がってきた段階で、観光協会に確認するのでその後となる。

Q 観光協会に対してどのような項目の聞き取り調査等を行ったか。

A 新型コロナウイルス感染症の影響によるキャンセル数や金額について調査し、受付日を確認するためのアンケートも行った。さらに、実際の予約とクーポン券受領の関連についても調査している。

Q 事業の専決処分から数日しか早朝5時から予約があった等の疑問には、根拠や要因があったと思うので納得できる回答を望む。

A 陳情書で出されている問題点については、しっかりと報告す

産業厚生常任委員会

委員長 中山 義彦

予算審査 特別委員会 報告

9月定例会において、当委員会に付託されました議案1件の審査を行いました。審査の結果、原案のとおり決まりました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第59号 令和2年度えびの市
一般会計予算の補正（第11号）につ
いて

歳入について

〔債務負担行為補正〕

日章学園九州国際高等学校生徒寮費
助成事業

1,800万円

Q 寮費助成は、飯野高校での
県立高校としての全国枠募
集に係る主旨とは類似しているが、
県立高校と私立高校とは幾分か目
的が異なる気がする。飯野高校は地
方創生における教育を推進されてい
て実績も表れているが、今回の助成
事業はどのような目的であるのか。

A 飯野高校の助成との共通点
として、地域活性化が大きな
目的。併せて、保護者の経済的な負

Q 留学生の食糧関係を含め、
様々な面での経済波及効果
は確かにあると感じているが、現状
では中国からの留学生は見通しが
立っていないのではないかと考え
る。その中で、今後、日章学園に日
本人の生徒をさらに増やすことが目
的だと思うが、学校側としては今の
状況を脱するために、この学校をど
のようにして立て直していくのか把

担軽減ということも共通事項である。
日章学園九州国際高等学校は高校を
中途退学した子ども達がほとんどで
あり、その子ども達に日章学園へ来
て頂き、中国人との国際交流や国際
交流協会を通じた地域との交流の中
で人材育成を図ることが大きな1つ
の目的を持っている。更に、この学
校の果たしているえびの市内への経
済的効果も大きいと認識している。

握されているのか。

A 学校側からの説明では、中
国の留学生を呼ぶ前段とし
て、日本人学生が初めて運営出
来ること。学園から日本人学生
が0人になった場合には大幅な経費
削減となる旨の説明を県から受けて
おり、日本人学生が0人になった場
合は学校運営が難しくなるため、是
非日本人学生に安定的に在学しても
らい、その上で中国の留学生を招き、
また学校運営にあたっていきたいと
のことであった。

Q 現在のえびの市内の整備状
況について。
光ファイバーに関しては、
以前から全国的には実施さ
れており、えびの市には9年程前か
らエリアが入って来ている。その当
時は、えびの市は全域光回線の対応

歳出について

〔高度無線環境整備推進事業費〕

高度無線環境整備推進事業負担金

1億4,853万4千円

Q 熊本県人吉市の出荷工場ゼ
ンカイミートがかなりの豪
雨被害を受けたことで、新たな出荷
先の確保が必要になったことから、
それに係る経費の一部支援を行い、
ブランド継続と生産者の経営安定を
図ると説明を受けたが、今後の工場
復旧の見込み等はどうようになって
いるのか。

A 浸水被害に遭った出荷先工
場の復旧には1年から2年
かかることで、全く見通しが
立っていない状況である。今回は、

ができていない状況だったため、企
業誘致の上でも事業所の方から光回
線が無いということでの苦情等が多
数あったが、最近飯野地区から
徐々に整備されたことにより、その
ようなご意見はなくなった。今回の
事業はえびの市全域が均一なサービ
スが受けられるためにも必要であ
る。

〔畜産振興事業費〕
えびの産ハープ和牛販路開拓支援事
業補助金

36万円

Q

Q

A

令和2年7月から令和3年3月までの期間としているが、出来るだけ県内のト畜場で調整をしていきたいとのことである。ハープ牛は、県内で出荷の確保が可能となっており、

ハープ和牛のみが一部出荷調整が困難な状況で、福岡県に出荷をしなければいけない状況であり、今後については県内の出荷先と調整をしながら進めていきたい。

「団体営農業水路等長寿命化・防災減災事業費」

ため池等ハザードマップ作成委託料

450万円



今回の事業はため池等のハザードマップ作成委託となっており、ハザードマップを作るだけでなく、農業用水のため池だと知らせて近付かないように立入禁止等を示す看板や、ため池を囲む柵などの対策等も必要だと感じるので是非検討をしていただきたい。



現在、土地改良施設には子どもにも分かるような看板を設置してあるので、そのような看板を今後ため池等にも設置していく

よう検討したい。

「新型コロナウイルス感染症対策費」

2,986万円



第2弾となる今回のプレミアム付商品券発行事業について、申し込みの方法等は、



今回の申し込み方法は、3密防止のため郵送による申し込みを考えている。申込開始については、10月20日の行政事務連絡文書にてチラシを配布し、その後の週に申込みを開始することを想定しているが、詳細については商工会と協議をする。

「新型コロナウイルス感染症対策費」

サイクリングキャンペーン委託料

313万5千円



サイクリングキャンペーン運営委託料313万5千円の委託先と、サイクルツーリズム推進キャンペーンの開始時期等の詳細について。



委託先としては、アウトドアビクターセンターの指定

管理者を予定している。また、サイクルツーリズム推進キャンペーンは、観光庁の誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業という補助金を活用する事業である。この事業の選定通知が9月中旬を予定されており、交付決定を受けたのちに事業を開始することになるため、まだ詳しい日程は決まっていないが、早ければ10月中、遅くても11月中の始動になると想定している。この支援事業は来年3月7日までに実績報告書を提出する必要があるが、キャンペーン自体は1月末、あるいは2月中旬の設定になるのではないかと想定している。

た。現在ある児童書がかなり古くなっており、また新型コロナウイルスの影響で子ども達が自宅で過ごす時間や、図書館利用の機会が増えているので、もつと有意義に過ごせる読書環境を整えたいという要望から児童書を整えることになった。また、以前、監査から入札をした方が良かったのではないかと指摘があったため調査したところ、図書館の本は、普通に本を買うだけではなく、本にバーコード添付等の諸般の必要作業等を含めると、現在のやり方が良いという結果だった。

ないかと想定している。

「新型コロナウイルス感染症対策費」

図書類購入費

150万円



今回1,000冊購入されるが、どのような購入方法を検討されたのか。



今回新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の中のメニューで図書館パワーアップ事業の活用を図書館と検討し

予算審査特別委員会

委員長 遠目塚 文美



※一般質問の際のマスクの着用については、えびの市議会では議場で3密対策をとっているため、マスク着用は各議員の判断にゆだねています。

コロナウイルス感染症対策について



金田 輝子
議員



減に繋がるが、本市の状況はどのようなのか。

健康保健課長補佐 ジェネリツク

質問 コロナウイルス感染者が発生した場合の感染拡大を防ぐ対策は、どのように考えているか。

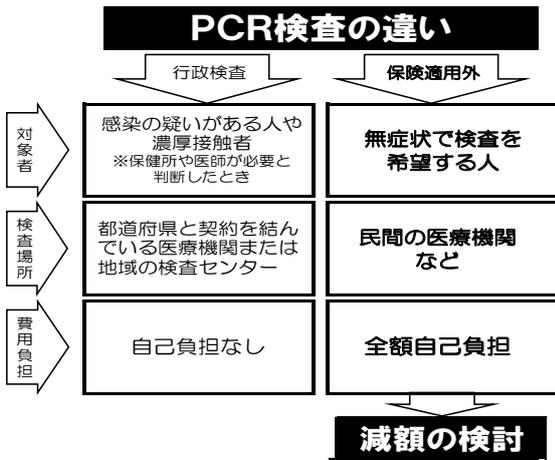
医薬品に切り替えることで、ひと月当りの調剤自己負担が200円以上減額となる。長期服用者を対象にジェネリツクとの差額通知を発送して、切り替えの促進を図っている。昨年度の利用状況は、えびの市で82・13%である。

の管理者等が、消毒を行うようになっている。尚、情報提供については、疫学調査に支障が生じるため個人名は公表しないことになっている。

健康保健課長補佐 24時間相談窓口

口に相談のうえ、かかりつけ医の受診や保健所長がPCR検査の要否を決定し、検査可能な医療機関を紹介して検査を行う。又、積極的疫学調査により確認された濃厚接触者で検査が必要な人は、保健所から連絡があるので指示に従い検査を受ける。

質問 ジェネリツク医薬品を使用することは、患者負担や医療保険軽



危機管理について



上原 康雄
議員



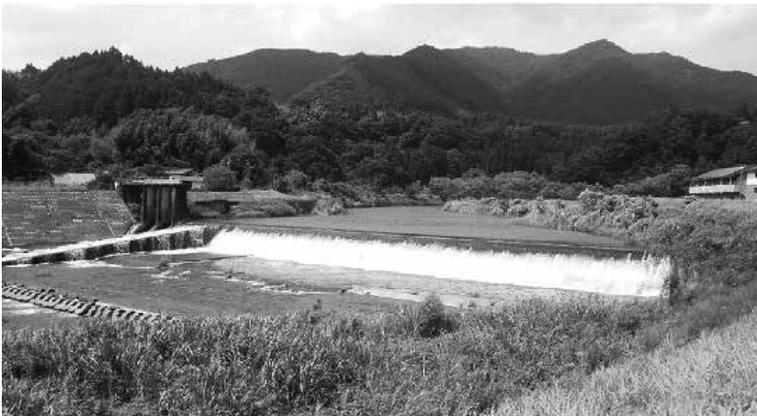
況は。

市長 下方井堰の改修についてはこれまで何回も国交省に要望を行った。現在ボーリングによる地質調査等が始まっている。早急な下方井堰の改修にこれまで以上の要望活動を行う。

質問 市役所職員の危機管理意識が徹底されていない。職員の危機管理意識を高めるための取り組み状況は。

総務課長 課長会や職員全員が見るグループウェア上で、直接市長から注意喚起や対策の指示を行った。総務課からも同様の手段で職員や課長に向け複数回の注意喚起を行い、各課での取り組みを通知している。現在各課での危機管理意識を高めるための取り組みを行うと同時に、総務課では必要な規程等の整備や研修を調整中である。

質問 7月豪雨で飯野麓地区の市営飯野団地が冠水し大きな被害が発生した。飯野橋上流の下方井堰の改修で災害発生を防げるのではないのか、下方井堰の改修の現在の進捗状



急げ！下方井堰の改修!!

産業団地の誘致企業の選定を急げ



中山 義彦
議員



質問 産業団地の企業誘致の現状と見通しは。

市長 現在、複数の企業から事前協議申込書が来ている。なお、事前申込みまで至っていない企業もあるが、えびのに一番適した企業を年内に選定する。

質問 産業団地の目的は、雇用の場を創出して定住人口を増やすことで良いか。

市長 多様な職場の提供ができればと思っている。人口減少に歯止めをかけるため、地場産業として根付かせることが目的である。

質問 市立病院を直営で黒字化するための具体策は。

市長 医師の確保も頑張っていくが、地域包括ケア病床も導入したので、経営改善を含めて黒字化を目指す

していく。

質問 硫黄山白濁の中和処理施設計画の現状は。

市長 県の白濁問題協議会でも施設を作る結論が出ている。一日も早い予算化を要望していく。

質問 地籍調査未完了地の重ね図の地番位置ズレへの対応は。

税務課長 重ね図においてズレが判明した場合は、修正して提供する。



産業団地計画図

令和三年度 宮内水路完成



栗下 政雄
議員



質問 JA、えびの市、議員と三者で温暖化対策の研修・勉強会を検討している。市の担当職員に研修に参加するよう指示される考えがあるか。

市長 すでに担当課へ指示しているが、研修先が県外であるため新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見た上で、実施するよう指示している。

質問 宮内水路整備問題を取り上げてから、採択されるまでにかかなりの時間が経ったが、大河平土地改良区役員の方々の努力と一致団結の成果である。進捗状況と完成はいつ頃か示せ。

市長 大河平土地改良区のこれまでの要望を受けて、平成30年度に県

営事業として採択され、隧道などの用水路317mが整備されることとなった。今年度分の工事は9月に契約される見込みで、事業の完了は令和3年度の予定であると県より伺っている。



宮内水路

急げ!! 財源確保



田口 正英
議員



質問 6月定例会以降県・国に対し中和処理施設の建設に向けてどのように対応されたのか伺う。

市長 6月29日「川内川河川改修期成同盟会」で県総合政策部長、環境森林部長宛に恒久的な水質改善施設の建設・維持管理について要望をした。また、8月19日副知事にも施設の早期実現に向け国への要望も含めて要請をした。

質問 事業主体は県が主体となり進めるといわれるが事業計画案はできているのか。また今後新たに国へ要望する考えはないか。

市長 実施設計、事業費については概算ではあるが決まっている。また一刻も早い施設建設を県だけでなく国にも財源確保に向け要望活動をしていく。



本格的な稼働が待たれる中和処理施設

質問

減災対策の一環として自主防災組織の設立が推進されているが、現在の取り組み状況を伺う。

基地・防災対策課長

昨年度から検討委員会で様々な意見をいただいている。今後コロナ対策をとりながら住民説明会を開催していく。

質問

現在取り組んでいる自治会件数は何件か。

基地・防災対策課長

11自治会である。

将来への希望が持てる支援を!



遠目塚 文美
議員



質問 令和2年7月豪雨で、規模の違いはあるが農道や水路等に被害が出ている。田畑は貴重な財産で

資材提供だけでは修繕不能な場所もあり、自治会長から要望書も出されている。高齢化等の課題も重なり、耕作放棄地にならないよう復旧支援が必要である。

農林整備課長

令和2年に限った支援は難しいが、激甚災害指定されたので国の支援が受けられる。

質問

避難所での車中泊受け入れの配置や動線計画の策定は。

基地・防災課長

避難所へ行けない方や新型コロナウイルス対策等で車中泊は増えている。運動場は学校との協議も必要。他自治体事例を参考に、市民への周知も含め検討する。

質問

飯野高校生からの子育て支援



飯野高校生発案の子育て支援

援に関する提案書の取り扱い。 **市長** 学校での活動に留まらず、母親等の意見も取り入れた提案書は、社会的意義が大きいと感じる。 **こども課長** 4つの提案のうち、公園や施設は整備が伴うものなので、今後慎重に検討する。

質問

子ども宅食事業の連携は。

教育長

関係団体等との情報共有や事業周知を図り、必要な人が利用出来るように努めたい。

市長に災害復旧支援を要請!!



吉留 優二
議員



質問 7月豪雨災害で本市は、激甚災害の認定を受けたのか伺う。

市長 5月15日～7月31日までの激甚災害の認定を8月25日閣議決定され8月28日公布されている。

質問 7月豪雨で被害を受けた農業従事者の支援、また、麓地区ではダンプトラックや乗用車など数十台が廃車となり、建設機材など甚大な被害が出ている。市独自の支援が必要だが市長の見解を伺う。

市長 災害は毎年起きています。今年だけの支援は考えていません。

質問 復旧支援を受けられない災害現場で、大雨が降ると住宅を巻き込む災害が起きる可能性の現場がある。対策が必要と考えるが。

市長 基準を作り対応している。山林の崩れる場所に農業等の施設が

あるかないかで判断している。

質問 消防団員の減少で支障が出ている。行政主導で団員確保に努めるべきと考えるが見解を伺う。

市長 消防団は市にとって必要不可欠、自治会長に伝え取り組む。

質問 消防団員は家族協力のもと昼夜を問わず懸命に活動をしている。費用弁償引き上げの考えは。

市長 西諸管内同額での費用弁償という事で今は考えている。



災害訓練をするえびの市消防団

小田堂川の改修を急げ



西原 政文
議員



質問 西郷地区は、再三浸水に遭い民家や農業施設などに被害を受けている。今後の被害防止の為、関連する水路改修を求めます。

市長 西郷の水路は、流下能力が低い断面になっている上に雨量が多かった。今後、浸水対策の為、地元の方と協議して抜本的な改善の為に調査を行い進める。

質問 島内の小田堂川は、S字カーブを繰り返している。近くに飲食店もあり危険な状態である。早急な改修が必要だ。

建設課長 小田堂川は、流れを阻害する狭窄部などないか至急調査する。樋門の関係もあるので国土交通省とも協議する。

質問 西川北の四反田川が被害を受けた。今後どの様にするか又、来

季のコメの作付けが間に合うようにすべきだ。

建設課長 四反田川の復旧は、今年中に発注し作付け可能にする。

質問 下大河平は甚大な被害を受け、平田橋も通行止めになっているが今後の対策を示せ。

建設課長 平田橋の改修は、10月の被害査定後早く発注する。現在は2トン車まで通行可能としている。



小田堂川水路

豪雨災害並びにコロナ感染症対策



竹中 雪宏
議員



整えば確立ができると思っ
て、早急に運営方法について
も詰めていきたい。

質問 コロナウイルス禍の中
で、幹産業の支援策として、
生産者の意欲を失わせな
い本市独自支援策を構築す
る考えはないか。

市長 感染状況等も含めて、
農業への影響も懸念される
ので、しっかりと状況を見
極め意欲が減退しないよう
に下支えをしていく。

質問 本市でも多くの災害が
発生している。被災箇所数・
被災金額並びに対処策を伺
う。

農林整備課長 田畑、農道、
市道など360箇所、水稲など
38haで6億3,017万1千
円である。

市長 激甚災害に指定された
ので、すべての災害が対象
になる。

質問 永山・湯田・西郷地区
は大雨が降るたびに洪水が
発生している。抜本的な改良
が必要である。

市長 12月に調査費の予算計
上を行い、調査をスタート
する。

質問 PCR検査は、県内7医
療圏に一箇所ずつではなく、
公立病院すべてで対応でき
る体制作りを確立するべき
であると思うが。



豪雨冠水被災を受けた農地・道路

市民目線で透明な行政を求めろ！



小東 和文
議員



質問 自治会の回覧文書配布
前に500人分の宿泊クーポン
券の予約が4時間弱で終了し
た状況は事前情報を得てい
た者が不正に予約をしたと
思われても仕方のない状況
だ。

今回のクーポン券配布に
関して不正が行われ一部の
人だけに税金が使われ不正
な利益を得ている者がいる
とすると問題ではないか。
透明な行政を求めるとは徹
底的に追及し、何故このよ
うになったのか市長の責任
は大である。

市長 事業そのものがまだ
完結していないが今回、不
審な点等の意見もいただいた
ので観光協会からの報告が
上がった後、最終的には補
助金の取りまとめの中で
チェックしていきたいと思っ
ている。

質問 新型コロナウイルス感染症

の影響で収入がなくなり、
家賃が払えなくなったり、解
雇や雇止めにあたり休業が
相次いだりして生活保護受
給者が急速に増加する兆し
が出ていることだが、本市
の実態はどうなっているの
か。

福祉課長 全国的にはコロナ
の影響を受け24・8%増と
の報道だが、本市の現時点
においては昨年度と比較し
増加している状況ではない。
緊急支援事業も行っている。

市民向け割引クーポン券 先着500名限り(4,000円割引+2,000円商品券)

発行期間：4月7日～4月30日

クーポン券のチラシ

全家庭に防災戸別受信機設置を



蔵園 晴美
議員



質問 近年豪雨災害で多くの生命財産が失われている。現在の屋外スピーカーによる避難情報等は風雨の強い時はほとんど聞こえない。各家庭に情報提供するのは行政の責任。市民の安心・安全確保に戸別受信機の設置は急務である。新年度予算に反映させるように協議するべきではないか。現在戸別受信機の設置状況はどうなっているか。

市長 現在のシステムで活用できるところ、できないところの状況がある。今回光回線が開通する。どういったシステムが効率的か検討していく。

基地・防災対策課長 戸別受信機設置は難聴地域、教育施設、老人ホーム・介護施設、公的機関など合計222ヶ所設置してある。



確実な情報伝達をする戸別受信機

質問 市有遊休地で宅地化が見込める土地の有効活用を提案している。優先順位をつけて取り組むとのことであったが新年度に向けてどのように取り組むのか。

財産管理課長 現在調査を行っているが、これとは別の土地については新年度予算に計上できるよう準備している。

人の温もりの育まれるICT教育を！



松窪 ミツエ
議員



質問 ICT教育での心の教育をどのように考えるか。

教育長 ICT導入の教育では、情報活用能力を育成する観点で、技能的な向上ではなく情報モラルも含めた心の教育もしていくことを考えている。教科書を読む、話を聞く、話し合う、ノートに書く、など基本的学習の学びのサイクルを大事にして、ICTの機器を効果的に活用できるように、授業に組み込むことが必要と思っている。教師と児童生徒が共感的に学び合うスタイルはしっかりと継続して、大切にしていきたいと考えている。

質問 市立病院の医療体制の改革について市民の声があるが。

市長 必要な医療サービス提供で

きる機能体制を維持し地域医療を支える公立病院の存続を考える。
質問 自主防災組織の災害活動状況と組織の設置について伺う。

基地・防災対策課長 出水・加久藤麓・上大河平の3自治会で豪雨時の巡回。地元の自治公民館待機と巡回パトロール、住民への呼びかけ。山火事等における活動があった。今後も、自治会での説明会を継続し、令和4年度には、65の設置を目標として推進していく。



防災と危機管理能力の向上を



小宮 寧子
議員



質問 7月の豪雨災害の反省を踏まえ今後の災害発生時の状況確認の仕方をどのように考えるか。

市長 避難の判断基準となる河川の観測ポイントと監視カメラや水位計を増やすよう国へ要望している。また消防団との役割分担の仕方や情報収集のやり方、自主防災組織との連携などを図っていく。

質問 自力避難が困難な高齢者や障がい者の逃げ遅れを防ぐための「個別計画」の作成状況は。

福祉課長 避難行動要支援者名簿を基に、地域福祉推進会議にて情報の共有を図り避難支援協力員、避難場所等の登録を行っている。個別計画策定に向けデータ整備を図り、運用も含め基地・防災対策課と連携を図る。



飯野水位観測所

質問 防災意識向上のため防災ハンドブックの作成を提案するが。

基地・防災対策課長 今ある防災ガイドの情報やデータを基に掲載内容を検討し、まずは防災講座や会合等で試行的な配布を検討する。

質問 市道の異常などの情報収集にLINEを活用して市民から通報してもらおう考えはないか。

企画課長 先進地の運用の経緯を注視して研究等を行っていく。

令和2年8月臨時会 議案審議結果表

1. 議案等

付託	番号	件名	審査結果	北	小	吉	金	中	遠	小	田	松	上	竹	西	西	蔵	栗
				園	宮	留	田	山	塚	東	口	窪	原	中	原(義)	原(政)	園	下
	報告第13号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第14号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第15号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第16号	専決処分した令和2年度えびの市一般会計予算の補正(第9号)の承認について	原案承認		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	令和2年度えびの市一般会計予算の補正(第10号)について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	令和2年度えびの市病院事業会計予算の補正(第1号)について	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和2年9月定例会 議案審議結果表

1. 議案等

付託	番号	件名	審査結果	北	小	吉	金	中	遠	小	田	松	上	竹	西	西	蔵	栗
				園	宮	留	田	山	塚	東	口	窪	原	中	原(義)	原(政)	園	下
	報告第17号	令和元年度えびの市健全化判断比率について	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第18号	令和元年度えびの市資金不足比率について	—		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第49号	えびの市名誉市民の称号を贈ることについて	原案可決		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

付託	番号	件名	審査結果	北	小	吉	金	中	遠	小	田	松	上	竹	西	西	蔵	栗
				園	宮	留	田	山	塚	東	口	窪	原	中	(義)	(政)	園	下
	議案第50号	えびの市名誉市民の称号を贈ることについて	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第51号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更(第1次)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
総務教育	議案第52号	財産の処分について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
総務教育	議案第53号	動産の買い入れについて	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
総務教育	議案第54号	えびの市一般職の職員の給与に関する条例及びえびの市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	議案第55号	えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	議案第56号	えびの市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	議案第57号	えびの市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	議案第58号	えびの市母子及び父子家庭医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
予算審査特別委員会	議案第59号	令和2年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	議案第60号	令和2年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第2号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	議案第61号	令和2年度えびの市後期高齢者医療保険特別会計予算の補正(第1号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	議案第62号	令和2年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	議案第63号	令和2年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正(第1号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
総務教育	議案第64号	令和2年度えびの市水道事業会計予算の補正(第1号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
総務教育	議案第65号	令和2年度えびの市病院事業会計予算の補正(第2号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	議案第66号	令和2年度えびの市一般会計予算の補正(第12号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	議案第67号	令和2年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第3号)について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
決算審査特別委員会	認定第1号	令和元年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	認定第2号	令和元年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	認定第3号	令和元年度えびの市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	認定第4号	令和元年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
産業厚生	認定第5号	令和元年度えびの市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
総務教育	認定第6号	令和元年度えびの市えびの市水道事業会計決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
総務教育	認定第7号	令和元年度えびの市病院事業会計決算の認定について	認定	/	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

2. 陳情

産業厚生	陳情第11号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書	継続審査
産業厚生	陳情第12号	令和2年度えびの市観光緊急誘客対策事業に対して調査及び究明を行う百条委員会等をえびの市議会に対して求める陳情書	継続審査

○議案等に対して賛成

●議案等に対して反対

欠：欠席 -：棄権

/：議長は採決に加わりません。

委員会等視察報告

産業厚生常任委員会

管内調査報告

■日時・場所

令和2年7月29日(水)

えびの高原中和処理施設

■目的

硫黄山対策の状況について

■調査内容

石灰石を活用した中和処理施設については県と宮崎大学との共同研究によるもので、現在の水質の数値よりPHを1上げ水質の改善を図るための施設の建設を目的に行ってきました。実証・実験を終了し水質の監視強化を図りながら恒久的施設の建設に向けて、建設位置・規模、また国定公園内であるため敷地の確保あるいは周辺への影響など調査する必要があります。詳細な設計はまだであるが、計画に変更はないとしながらも予算の目途は立っていない状況であり、早急に取りまとめ国・県に対して要請をするように求めました。



産業厚生常任委員会

委員 田口 正英

■日時・場所

令和2年8月19日(水)

下大河平地区・大明司地区・白鳥地区JA育苗センター

■目的

○7月豪雨災害に伴う市内被害状況調査

○長江川河川水を使用した水稻試験栽培調査

■調査内容

〔7月豪雨災害の被害状況について〕

7月豪雨災害の被害状況は、建設課分で、道路災害6件1億5千8百万円・橋梁災害1件4千万円、合計1億9千8百万円、畜産農政課分で、水稻(内容・河川氾濫による表土流出、土砂流出、水利確保による育成不可)被害面積38ha4千50万円・鳥獣被害防止柵(内容・河川氾濫による流失及び埋没、折損)1,928m177万1千円・苗物用ビニールハウス(内容・河川氾濫による水没により流木がハウスの支柱と接触し破損)3万円の被害報告を受けました。

委員会では調査報告を受け災害復旧の対策を協議しました。

〔水稻試験栽培調査について〕

硫黄山噴火に係るポット試験栽培状況では、赤子川からの取水再開に係る検討材料として、試験栽培用ポット(ワグネルポット)を用いての試験栽培の

視察をしました。

試験内容は、用水として、えびの橋・岡元水路取水口上流部・宮川元頭首工の水を使用し、肥料設計として窒素成分で、えびの米1号を使つての試験でした。

調査項目として、生育調査(草丈、芽数、葉色を移植後14日、37日)・成熟調査(稈長、穂長、穂数)・収穫物調査(ヒ素等)の項目での試験です。

注水については、水位を見ながら2〜3日間隔で行われ、いもち病が発生したため農薬を散布し、除草については、除草剤は使わずに栽培しており、育成には顕著な差はみられず育成調査は現在集計中との報告を受けました。

産業厚生常任委員会として、今回の管内調査の内容を検討し今後にも注視してまいります。



産業厚生常任委員会

委員 吉留 優二

令和2年7月豪雨災害現場

9月補正災害復旧工事費 総額6億2,500万円)

7月豪雨災害では、九州各地で被害が発生しており、えびの市においても甚大な被害が出ました。7月豪雨災害の復旧工事費は、農業用施設災害2億6,000万円・農地被害1億5,000万円・公共土木災害2億1,500万円の被害が出ております。

これからも、防災意識を高めていかなければなりません。家庭内での備蓄や非常持ち出し品などを用意しましょう。また、避難場所への避難方法を確認しましょう。



県道403号線の崩壊



平田橋の横ずれ

高めよう防災意識 避難はやめに・守ろうわが命

「避難勧告等に関するガイドライン」が改正されました。

「警戒レベル」

警戒レベル	住民がとるべき避難行動	避難情報等
5	命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報
4	全員避難	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者、障がい者、乳幼児などとその支援者は避難、他の住民は準備	避難準備・高齢者等避難開始
2	避難に備え 自らの非難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報
1	災害への心構えを高める	警報級の可能性 (早期注意情報)

えびの市が発令

気象庁が発令

追加

避難情報の種類や意味を、事前に理解しておきましょう。

避難準備情報

大雨や暴風が続くと見込まれ、土砂災害や洪水が発生する可能性が高まっている状況

【求められる行動】

いつでも避難できるように準備、避難に時間がかかる方は避難を開始

避難勧告

土砂災害、洪水などが発生するおそれがあり、命が危険にさらされる可能性が高まっていて、避難が必要

【求められる行動】

すみやかに、安全な場所への避難を開始

避難指示

災害の前兆現象が発生、切迫した状況から命が危険にさらされる可能性が非常に高まっている状況。ただちに避難が必要

求められる行動

ただちに安全な場所へ避難、状況によっては、命を守るために「屋内安全確保」などの行動をとる。

**自らの命は自ら守る意識を持って
自主的に避難するよう心がけましょう。**

必ずしも防災気象情報と同じレベルの避難情報を同時に発令するものではありません。

コロナ対策に取り組む市の施設を紹介！

【白鳥温泉 上湯・下湯】

白鳥温泉上湯・下湯は、西郷隆盛が心身を癒しに訪れた歴史のある温泉で、地元の方はもちろん、県内外から訪れる登山客にも愛されている温泉宿です。現在、感染症対策として、マスク着用と手指消毒の徹底や換気、椅子やテーブルなどは一定の間隔を空けるなどを行っています。

お二人にお話を伺いました



左:コンシェルジュ 加藤奈美さん

右:コンシェルジュ 大崎幹子さん

(温泉ソムリエ)

上 湯

◇おすすめポイント！◇

①地獄谷から湧き出る蒸気を使用した天然蒸し風呂が最高！👉



②大きな岩をくり抜いて作った岩風呂付き客室がある！👉



③自分で作ることができる温泉卵が美味しい！👉
(蒸し野菜もOK)



【白鳥温泉 上湯】 営業時間:午前7時～午後8時

お店からの一言

今の時期は、朝霧が幻想的でとてもきれいです。ぜひ一度清々しい秋の風情を感じてください！

〇お問い合わせ
0984-33-1104

※詳しくはホームページをご覧ください。

下 湯

◇おすすめポイント！◇

①「ヘッドほぐし」または「ハンドほぐし」の5分間セラピー体験ができる！👉



👉②森林を眺めながらゆっくりくつろげる休憩室(有料)が良い！
(美味しいコーヒーもありますよ)

【白鳥温泉 下湯】

下湯にはファミリー層に人気の家族湯と、障がい者に優しい福祉湯・介護湯があります。詳細はホームページをご覧ください。

お店からの一言

地元の皆さまに愛され続ける温泉として、若い世代の方にも温泉の良さを感じてほしいです。

〇お問い合わせ:0984-33-3611



編集後記

紅葉の候、いつしか秋も深まり、肌寒さを覚えるこの頃です。

7月の豪雨、台風10号では本市においても、家屋の浸水や水田の崩壊、崖の崩落、河川橋梁、農道、水道設備等々の被害ができました。被災された皆様方には心からお見舞い申し上げます。

今季定例会は令和元年度歳入歳出決算について予算の執行や事業の経営が適正に効率的に行われたか、慎重に審議しました。内容、結果は本誌をご覧ください。

12月には市制50周年記念式典が開催されます。過去の50年を振り返り、未来への50年に夢をたくし皆様のご意見を市政に届け活動しています。季節も変わります。日々の健康な暮らしを祈念いたします。

議会広報特別委員会

委員 松窪 ミツエ

